

令和八年度 奈良大学附属高等学校入学試験問題（国語）

□ 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
掲載を差し控えております

（山口裕之『みんな違ってみんないい』のか？）

問一 〓 線部 a のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

問二 〈 A 〉〈 C 〉にあてはまる語として最も適切なものを次のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ また ウ たとえば エ なぜなら オ むしろ

問三 〓 線部①『正しきは人それぞれ』とか『みんなが違ってみんないい』とあるが、筆者はこの考え方についてどのような点を問題視しているのか。解答欄にあてはまるように本文中から四十五字で抜き出し、はじめと終わりの五字で答えなさい。

〓 点。

問四 〓 線部②「逆もまたしかり」とは具体的にどのような内容を指しているのか。最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 原子力発電所を維持するのであれば、事故等に対する安全性を手放さなければならない。
- イ 原子力発電所を維持するのであれば、経済発展の面での利益を手放さなければならない。
- ウ 原子力発電所を廃止するのであれば、事故等に対する安全性を手放さなければならない。
- エ 原子力発電所を廃止するのであれば、経済発展の面での利益を手放さなければならない。

問五 ———線部③「そうした場合」とはどのような場合か。解答欄にあてはまるように本文中の言葉を用いて十五字程度で答えなさい。

□□□□□場合。

問六 ———線部④「権力者は大喜びでしょう」とあるが、筆者は相対主義的な考え方を主張すると「権力者が大喜びする」と述べている。その理由として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 相対主義が広がると、多様な意見が同じ価値を持つため、政策の調整が進んで決定が容易になるから。
- イ 相対主義が広がると、意見の良し悪しが判断できず、議論が成立せずに権力者が力で決めやすくなるから。
- ウ 相対主義が広がると、人々の判断が分散してしまい、政治への関心が弱まり権力者の負担が激減するから。
- エ 相対主義が広がると、専門家の見解がかなり重視され、政策が科学的根拠にもとづき整えられるから。

問七 □□□□□にあてはまる言葉を本文中から八字で抜き出しなさい。

問八 次の文章は、———線部⑤「科学は一枚岩ではない」を説明したものである。□ i □ □ iii □にあてはまる言葉を（ ）内の指示にしたがって、本文中からそれぞれ抜き出しなさい。

科学は一般に□ i (七字) □ものともなされがちだが、実際には科学者によって□ ii (九字) □に分かれることも多い。とくに現在議論されている問題については、科学者の間で十分に□ iii (十字) □のため、科学は必ずしも一枚岩とは言えない。

問九 ———線部⑥「権力を持つ人たちは、もっと直接的に科学者をコントロールすることもできます」とあるが、筆者は政府が科学者をコントロールするとどのような問題が生じると考えているか。最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 政府が科学者をコントロールすると、政府の考えに合った研究だけが進められるおそれがある。
- イ 政府が科学者をコントロールすると、科学的に根拠のない情報だけが広められるおそれがある。
- ウ 政府が科学者をコントロールすると、国民が科学への関心を全く示さなくなるおそれがある。
- エ 政府が科学者をコントロールすると、科学者による新しい理論の発見が妨げられるおそれがある。

問十 次のⅠ～Ⅴの各文について、考え方が「相対主義」にあてはまるものにはアを、「普遍主義」にあてはまるものにはイを書き入れなさい。

- Ⅰ 三角形の内角の和は、誰が測っても一八〇度である。
- Ⅱ 美しいと思う基準は人によって違う。
- Ⅲ 「正義とは何か」は、社会や文化によって変わる。
- Ⅳ 絶対に正しい考え方があるとは限らない。
- Ⅴ 物体が落下するのは、重力が働くためである。

問十一 本文の内容に合うものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 相対主義が広がる、価値観の対立が生じたとしても互いを尊重できるため、社会は安定しやすくなる。
- イ 科学は常に客観的で正しい答えを示すため、政治は科学者の判断に全面的に従えば問題は起こらない。
- ウ 相対主義も普遍主義も理解を誤ると、権力者が自分の意見を正当化し、多様な見解が力で押しつぶされる。
- エ 価値観の対立が深まる現代社会では、個人が自分の信じる「正しさ」だけを守る事が最も重要である。

【二】 次の文章を読んで、おこの各問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
掲載を差し控えております

(坪田信也『八秒で跳ぐ』)

※ 囁き……相手をほかにしてささやくこと。

※ シンチサーバー……一時的に交代してサーブを打つ選手。

※ 身じろぎ……体をちよつと動かすこと。身動き。

問一 〰〰〰線部 a のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

問二 【 】にあてはまる語として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア はっこり イ どんより ウ しんみり エ ひっそり

問三 [I]にあてはまる語句として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 顔に泥を塗る イ 腫れ物に触る ウ 腹にすえかねる エ 手に汗を握る

問四 〰〰〰線部①「バツが悪い」の意味として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 面倒くさい イ 気まずい ウ 喜ばしい エ 信じられない

問五 〰〰〰線部②「そりゃ意外でしょ」とあるが、「景」にとって「北村」のどのような点が「意外」だったのか。() 内の指示にしたがって、[i]～[iii]にあてはまる言葉を本文中からそれぞれ抜き出しなさい。

高校に入学する前は [i (十五字)] 北村が、 [ii (九字)] という理由で、 [iii (十一字)] だ。

問六 ———線部③「それだけで景色が「変する感覚」とあるが、「北村」にとつての「それ」とはどのようなことだったのか。解答欄にあてはまるように本文中の言葉をういて十五字程度で答えなさい。

北村の こと。

問七 Ⅱ・Ⅲに共通してあてはまる言葉を本文中から五字で抜き出ささい。

問八 ———線部④「僕はそのせいで身しろを一つでしなかつた」の説明として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 景は、過小評価していた北村からの強い意志を持った言葉に衝撃を受け、精神的に圧倒されている。
- イ 景は、憧れていた北村からの自分を否定する言葉に強い怒りを覚えたが、何一つ反論できずにいる。
- ウ 景は、中学時代から仲の良かった北村からの率直な言葉に思わず感激し、言葉につままっている。
- エ 景は、ライバルである北村からの厳しい言葉に恐怖を感じ、緊張のあまり動けなくなっている。

問九 ———線部⑤「ように」と意味・用法が異なるものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 彼の家はお城のように広い。
- イ 海のように広い心を持っている。
- ウ 日本人のようにすらすらと日本語を話す。
- エ 母は宿題をするように言った。

問十 本文の表現の特徴や内容について説明したもののとして最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 主人公の孤独や気持ちの揺れを丁寧に描き、読者が登場人物の心情に寄り添いやすくしている。
- イ 会話よりも試合の細かな描写を中心に据え、競技の知識がある読者が楽しめる内容にしている。
- ウ 人物の感情を直接示さず行動の描写のみを示し、読者に心の背景を読み取らせる構成にしている。
- エ 場面の転換を連続して多く用いることで、物語全体を通してスピード感と緊張感を持たせている。

Ⅲ 次の文章を読んで、おとの各問に答えなさい。

上[※]にさふらぐ御猫は、かうぶりたまはりて[※]命婦[※]のおととて、いみじうをかしかれば、かしづかせたまふが、端[※]に出でて臥したるに、乳母[※]の馬の命婦、「あなまさをや。入りたまへ」と呼ぶに、日の差し入りたるに眠りてゐたるを、おととて、「翁丸[※]、いつら。命婦のおとと食へ」と言ふに、まことかて、痴[※]れ者は走りかかりたれば、おびえまどひて、御簾[※]の内に入りぬ。朝餉[※]の間に、土おはしますに、御覧[※]して、いみじう驚かせたまふ。猫を御ふところに入れさせたまひて、男どもを召せば、藏人[※]忠隆参りたれば、「この翁丸[※]、打ち調[※]して、犬島[※]へつかはせ。ただ今」と仰せらるれば、集まり狩り願ぐ。馬の命婦をもさいなみて、「乳母かくてむ。いとうしろめたし」と仰せらるれば、かしこまりて御前[※]にも出でず。犬は狩り出でて、滝口[※]などして追ひつかはしつ。

「あはれ、いみじう揺るぎ歩さつるものを。三三三三、頭弁[※]の、柳かづらせさせ、桃の花をかざしに差させ、桜腰に差しなとして、歩かせたまひし折、かかる目見むとは思はざりけむ」など、あはれがる。

(『枕草子』)

- ※ 上……天皇。
- ※ かうぶりたまはりて……五位の位をいただいて。
- ※ 命婦のおととて……「命婦のおと」という名前で。
- ※ 乳母……お世話役。
- ※ あなまさをや……ああ、みづこもない。
- ※ 翁丸、いつら……翁丸、どこにいるの。(翁丸は宮中で飼われていた犬の名前)
- ※ 御覧……すだれの一種。
- ※ 朝餉の間……天皇が食事をとる部屋。
- ※ 藏人……天皇のそば近くで命令の伝達や書類の取り扱ひを行った役職。
- ※ 打ち調じて……打ちこらしめて。
- ※ 犬島……犬を島流しにする所。
- ※ さいなみて……書めて。
- ※ 滝口……宮中の警護にあたつた武士。
- ※ 頭弁……朝廷での実務面における中心的指導者。ここでは藤原行成。
- ※ 柳かづら……柳の枝で作つた髪飾り。
- ※ かざし……かんざし。

問一 線部 a 「みやつぶ」・b 「くらつと」をそれぞれ現代仮名づかりに直しなさい。

問二 線部 ① 「かしづかせたまふ」の意味として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 大げさに驚いていらつしやる
- イ 真面目にお仕えていらつしやる
- ウ 大切に世話をしていられつしやる
- エ 深く感動していられつしやる

問三 線部②「三月」の旧暦の名称をひらがなで答えなさい。

問四 次の会話は、本文を読んで生徒たちが話し合ったものである。あとの各問いに答えなさい。

- 【Aさん】 [1] という天皇の飼ひ猫が部屋の端で寝ていたところ、その猫の世話役である [2] が [3]
と言って、「痴れ者」をけしかけたんだ。
- 【Bさん】 ここで言う「痴れ者」とは、 [4] のことだね。
- 【Aさん】 そうそう。 [4] は、猫の世話役の言葉を真に受けて、 [1] に飛びかかっていったんだよ。すると、
[1] はおびえて御簾の中に逃げ込んだんだ。
- そして、その様子を御覧になった天皇がお怒りになり、 [4] を宮中から追放し、さらに猫の世話役であつた [2] も交代させたんだ。
- 【Bさん】 確かに、 [5] という行動から、天皇が [1] を非常にかわいがつていたことが分かるね。
- 【Aさん】 そうだね。その後、一連の出来事を見ていた本文の作者である [6] は、先日得意げに着飾つて歩き回つていた姿を思い出し、 [4] を気の毒に思つたんだ。

I [1] ・ [2] ・ [4] にあてはまるものを、次のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 翁丸 イ 中隆 ウ 頭弁 エ 命婦のおとど オ 馬の命婦

II [3] にあてはまる言葉を本文中から十字以内で抜き出しなさい。

III [5] にあてはまる言葉を本文中から十六字で抜き出しなさい。

IV [6] にあてはまる作者として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 兼好法師 イ 紫式部 ウ 清少納言 エ 松尾芭蕉

令和八年度 奈良大学附属高等学校入学試験 解答用紙 (国語)

受験番号
氏名

一											
問一	a	だきよう	b	おど	c	無駄	d	統一	e	緩和	
問二	A	ウ	B	ア	C	エ					
問三	異なる見解		い	つてしま	う点。						
問四	エ										
問五	価値観が違	う人とはわ	かりあえ	ない		場合。					
問六	イ										
問七	科学は人	それぞれ									
問八	i	客観的に正	しい								
	ii	さまざまな	立場や説								
	iii	合意がな	されてい	ない							
問九	ア										
問十	I	イ	II	ア	III	ア	IV	ア	V	イ	
問十一	ウ										

二											
問一	a	くず	b	のうり	c	記憶	d	雑然	e	こたち	
問二	エ										
問三	イ										
問四	イ										
問五	i	試合なん	かま	った	く出	てな	か	った			
	ii	バレーや	りた	か	った						
	iii	高校でも	バレーを	続	けた						
問六	北村の	し	シーブ	が	撃	が	つ	て、	得点にな	った	こと。
問七	覚えて	ない									
問八	ア										
問九	エ										
問十	ア										

三											
問一	a	みようぶ	b	くろうど							
問二	ウ										
問三	やよい										
問四	I	1	オ	2	エ	4	ア				
	II	3	命婦のお	とど	食へ						
	III	5	猫を御	ふ	ところ	に	入	れ	させ	た	まひ
	IV	6	ウ								

得点